

金沢を観光ルートの拠点に

高橋 勝義

金沢交流施設の建設計画について

問 金沢中学校の統合計画との関係もあるが、「後三年合戦」の観光ルートの拠点にという位置づけとする観点からも、早期建設を望むものだ。

答 老朽化が進み早目の改築をしなければいけない必然性を抱えているが、大変狭いところのため、現在地での改築はほぼ無理ということが当初からの判断だ。金沢中学校が横手地域における北部、西部の3中学校統合構想があるのでそれとリンクさせながら校舎の活用方を考慮して交流施設の建設に向かうべきだと今現在は思っている。地域の交流生涯学習、公民館機能を持つ施設であるが交流という部分からいうと地域内に留まらず地域外からも沢山の人にお出でいただくような「後三年合戦」の観光の拠点の機能も兼ね備えた施設というご指摘は大変大事なことで承っておきたい。

今後の金沢農業集落排水事業の計画について

問 平成19年度旧国道以北関係集落においてアンケート調査を行い、平成20年度、予算化されているが、今後の見通し、計画について問う。

答 地元では早速事業推進協議会を設立いただき事業を迎えるための加入促進等で活発な活動を展開していただいているところである。この動きを踏まえて平成20年度は事業採択のための事前調査や事業計画作成等の予算として200万円を計上させていただいた。事業が採択されると平成21年度から全体実施設計などに着手し5カ年で事業を完成させたいと考えている。本事業については利用していただくこと、「接続」が大変重要である。関係の方々の協力を得ること、より良い経営ができるよう願うものである。

その他の質問

企業誘致について

「後三年合戦」について

特養の管理運営について問う

堀田 賢逸

指定管理者制度を導入することについて

問 特別養護老人ホーム4施設を指定管理に出すこととしたが、利用者に迷惑がかららないか、また職員の労働条件の見直しは。

答 平成12年から介護保険制度が導入され、横手市では平成17年度、行財政改革プランで指定管理者制度導入を決定した。目的は利用者ニーズにきめ細かく柔軟に対応し、安定した施設経営を目指すことであり、民間法人の能力を活用することだ。4施設同時は制度移行が長引くことで利用者が混乱することを避けるためだ。一般職員の派遣は派遣法と派遣条例で派遣をし、非常勤は雇用条件が現在より悪くならないよう継続して雇用することを前提に募集したので、派遣や非常勤職員の再雇用については支障は生じないものと考えている。

問 指定管理者の現状はどうか。

答 以前は管理委託していたものを制度改正して指定管理にし

ようとするものだ。指定管理料は少しでも少なく出来るように上限を設定している。市が直営で運営していたものを管理指定する時は、公募を原則にし指定管理料は調査して決める。指定管理者の経営努力で収益が出た場合は指定管理者のものとなる。現在127施設である。

問 小・中学校、スポーツ少年団、高校等の各種大会出場補助について、3連覇等の時は1ランク上の補助は考えられないか。

答 小・中かなりの数の子どもたちが全国大会等に出場、活躍している。経費は平成18年度1900万円、平成19年度2600万円を超える金額になっている。これに一つ上のランクとした3連覇を認めると、この対象になる学校の数が増えることになり金額的に厳しいと言える。横手市補助金要綱は、合併後作られたものなので時間も経過しておらず見直しは考えていない。高校は県立なので市立とは一線を画すると考えている。